

三重縣公報(日刊) 明治二十五年三月二十六日 第三種郵便物認可

三重縣公報

第千二百四十號

昭和六年七月二十八日

火曜日

告示

●三重縣告示第六百四十八號

昭和六年度三重縣歲入歲出更正豫算其ノ他左記ノ通縣參事會ニ於テ議決セリ

昭和六年七月二十八日

三重縣知事 市村 慶三

昭和六年度三重縣歲入歲出更正豫算

歲入 經常部

第十三款 雜 收入 金五拾五萬五千八百七拾圓

第六項 雜 收入 金參拾五萬貳千五拾九圓

歲入經常部計 金六百參萬參千五百貳拾圓

歲入 臨時部

第二款 國庫補助金 金五拾四萬貳千四百拾五圓

第一款 衛生費補助金 金貳萬參千九百六拾壹圓

第四項 勸業費補助金 金拾參萬四千四百貳圓

第五款 縣 借入金 金七拾七萬六千貳百圓

第一項 縣 借入金 金七拾七萬六千貳百圓

第六款	縣 繰 替 金	金七千圓
第一項	縣 繰 替 金	金七千圓
歲入臨時部計		金參百貳拾壹萬四千四百拾六圓
歲入總計		金九百貳拾四萬七千六百六拾六圓
第九款	勸 業 費	金六拾七萬九千參百九拾六圓
第十二項	勸 業 諸 費	金貳拾四萬四千貳百八拾四圓
歲出經常部計		金四百九萬貳千六百貳拾五圓
歲出臨時部計		金參拾五萬八千五百九拾六圓
第十三款	勸 業 補 助 費	更正削除
第三十項	乾 繭 補 助 費	金四拾參萬貳千五拾四圓
第十五款	縣 債 費	金拾五萬壹千五百參拾壹圓
第二項	利 子	金五拾參圓
第三項	諸 費	金參萬四千八百七拾貳圓
第二十三款	衛 生 及 病 院 費	金七萬六千貳百圓
第一項	衛 生 諸 費	金七萬六千貳百圓
第二十四款	縣 債 出 金	金七萬六千貳百圓
第一項	縣 債 出 金	金七萬六千貳百圓
歲出臨時部計		金五百拾五萬五千四百拾壹圓
歲出總計		金九百貳拾四萬七千六百六拾六圓

社會事業資金縣債募集及償還方法ニ關スル件

社會事業資金縣債募集及償還方法左ノ通定ム

第一條 住宅組合ノ經營ニ屬スル住宅建築費ニ充ツヘキ資金トシテ貸付スル爲昭和六年度ニ於テ金壹萬八千圓ヲ一時ニ起債スルモノトス

第二條 本公債ニ對シ發行スル債券ハ記名無利札トシ其ノ種類ハ百圓、五百圓ノ二種トス其ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 募集金額ハ大藏省預金部ニ於テ前條債券ト引換フルモノトス

第四條 本公債ノ利子ハ壹ケ年四分貳厘トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六ヶ月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ募集ノ際ニ於テハ現金拂込ノ翌日ヨリ償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第五條 本公債ノ元金ハ昭和六年度ハ据置昭和七年度以降十九年間ニ於テ別表ニ依リ毎年度九月一日及三月一日ニ之ヲ償還スルモノトス

縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第六條 本公債ノ元金及利子ハ住宅組合ノ償還金並一般歳入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第七條 本公債ノ元金ハ債券ト引換ニ償還スルモノトス

附 則

本規程ハ昭和六年度ヨリ施行ス

債 還 年 次 表

元金壹萬八千圓 利率年四分貳厘

未償還額 元金償還額 利子償還額

合 計

昭和六年 三月一日 一八、八〇〇 一、〇〇〇 三、七六〇〇 三、七六〇〇

三、七六〇〇

同 七 年	九月一日	一七、七〇〇	三〇〇	三六、〇〇〇
同 八 年	九月一日	一七、四〇〇	三〇〇	三六、七〇〇
同 九 年	九月一日	一六、八〇〇	三〇〇	三六、五〇〇
同 十 年	九月一日	一六、五〇〇	三〇〇	三六、二〇〇
同 十 一 年	九月一日	一五、八〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 二 年	九月一日	一五、四〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 三 年	九月一日	一四、六〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 四 年	九月一日	一四、二〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 五 年	九月一日	一三、八〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 六 年	九月一日	一三、四〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 七 年	九月一日	一三、〇〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 八 年	九月一日	一二、八〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 十 九 年	九月一日	一二、四〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 年	九月一日	一二、〇〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 一 年	九月一日	一一、六〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 二 年	九月一日	一一、二〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 三 年	九月一日	一〇、九〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 四 年	九月一日	一〇、五〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 五 年	九月一日	一〇、一〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 六 年	九月一日	九、七〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 七 年	九月一日	九、三〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 八 年	九月一日	八、九〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 二 十 九 年	九月一日	八、五〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 年	九月一日	八、一〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 一 年	九月一日	七、七〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 二 年	九月一日	七、三〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 三 年	九月一日	六、九〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 四 年	九月一日	六、五〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 五 年	九月一日	六、一〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 六 年	九月一日	五、七〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 七 年	九月一日	五、三〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 八 年	九月一日	四、九〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 三 十 九 年	九月一日	四、五〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 年	九月一日	四、一〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 一 年	九月一日	三、七〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 二 年	九月一日	三、三〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 三 年	九月一日	二、九〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 四 年	九月一日	二、五〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 五 年	九月一日	二、一〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 六 年	九月一日	一、七〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 七 年	九月一日	一、三〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 八 年	九月一日	九〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 四 十 九 年	九月一日	五〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇
同 五 十 年	九月一日	一〇〇	四〇〇	三六、〇〇〇

同 十 九 年	九月一日	七、九〇〇	五〇〇	一六、四〇〇	六六、四〇〇
同 二 十 年	九月一日	七、四〇〇	五〇〇	一五、九〇〇	六五、九〇〇
同 二 十 一 年	九月一日	六、九〇〇	五〇〇	一五、四〇〇	六五、四〇〇
同 二 十 二 年	九月一日	六、四〇〇	五〇〇	一四、九〇〇	六四、九〇〇
同 二 十 三 年	九月一日	五、九〇〇	五〇〇	一四、四〇〇	六四、四〇〇
同 二 十 四 年	九月一日	五、四〇〇	五〇〇	一三、九〇〇	六三、九〇〇
同 二 十 五 年	九月一日	四、九〇〇	五〇〇	一三、四〇〇	六三、四〇〇
同 二 十 六 年	九月一日	四、四〇〇	五〇〇	一二、九〇〇	六二、九〇〇
同 二 十 七 年	九月一日	三、九〇〇	五〇〇	一二、四〇〇	六二、四〇〇
同 二 十 八 年	九月一日	三、四〇〇	五〇〇	一二、〇〇〇	六一、〇〇〇
同 二 十 九 年	九月一日	二、九〇〇	五〇〇	一一、五〇〇	六〇、五〇〇
同 三 十 年	九月一日	二、四〇〇	五〇〇	一一、〇〇〇	六〇、〇〇〇
同 三 十 一 年	九月一日	一、九〇〇	五〇〇	一〇、五〇〇	五九、五〇〇
同 三 十 二 年	九月一日	一、四〇〇	五〇〇	一〇、〇〇〇	五九、〇〇〇
同 三 十 三 年	九月一日	九〇〇	五〇〇	九、五〇〇	五八、五〇〇
同 三 十 四 年	九月一日	四〇〇	五〇〇	九、〇〇〇	五八、〇〇〇
同 三 十 五 年	九月一日	〇	五〇〇	八、五〇〇	五七、五〇〇
同 三 十 六 年	九月一日	〇	五〇〇	八、〇〇〇	五七、〇〇〇
同 三 十 七 年	九月一日	〇	五〇〇	七、五〇〇	五六、五〇〇
同 三 十 八 年	九月一日	〇	五〇〇	七、〇〇〇	五六、〇〇〇
同 三 十 九 年	九月一日	〇	五〇〇	六、五〇〇	五五、五〇〇
同 四 十 年	九月一日	〇	五〇〇	六、〇〇〇	五五、〇〇〇
同 四 十 一 年	九月一日	〇	五〇〇	五、五〇〇	五四、五〇〇
同 四 十 二 年	九月一日	〇	五〇〇	五、〇〇〇	五四、〇〇〇
同 四 十 三 年	九月一日	〇	五〇〇	四、五〇〇	五三、五〇〇
同 四 十 四 年	九月一日	〇	五〇〇	四、〇〇〇	五三、〇〇〇
同 四 十 五 年	九月一日	〇	五〇〇	三、五〇〇	五二、五〇〇
同 四 十 六 年	九月一日	〇	五〇〇	三、〇〇〇	五二、〇〇〇
同 四 十 七 年	九月一日	〇	五〇〇	二、五〇〇	五一、五〇〇
同 四 十 八 年	九月一日	〇	五〇〇	二、〇〇〇	五一、〇〇〇
同 四 十 九 年	九月一日	〇	五〇〇	一、五〇〇	五〇、五〇〇
同 五 十 年	九月一日	〇	五〇〇	一、〇〇〇	五〇、〇〇〇

合

計

一八、〇〇〇

八、七五〇、七〇

二六、七五〇、七〇

本表ハ八月三十一日現金受入ノモノトシテノ計算ナリ

縣繰替金並戻入方法更正

竊豫防費ニ充ツル爲昭和六年度ニ於テ金七千圓ヲ縣基金ヨリ繰替支辨スルモノトス其ノ繰替時期並利率戻入方法左ノ如シ

一金七千圓 昭和七年三月三十一日繰替ノ見込

一利率ハ年五朱トシ繰替ノ翌日ヨリ戻入ノ當日迄之ヲ附ス

一繰替金ノ元利ハ縣一般歳入ヲ以テ別紙年次表ノ通之ヲ戻入ス但シ臨時ニ戻入スルコトヲ得

縣繰替金戻入年次表

年度	繰替金	戻入金	残高	利子	元利合計
六	七、〇〇〇		七、〇〇〇		
七		七、〇〇〇	七、〇〇〇	三五〇	三五〇
八		七、〇〇〇		三五〇	七、三五〇
計	七、〇〇〇	七、〇〇〇		七〇〇	七、七〇〇

備考 一、元利金ハ年度末日ニ仕拂ヲ爲ス見込

縣繰替金並戻入方法廢止ノ件

昭和六年五月二十日議決乾願補助費ニ充ツル爲ノ縣繰替金並戻入方法ハ之ヲ廢止ス

(參考)

年次	繰替金	戻入金	残高	利子	元利合計
六	一〇、〇〇〇		一〇、〇〇〇		
七		一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	五〇〇	五〇〇
八		一〇、〇〇〇		五〇〇	一〇、五〇〇
計	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇		一、〇〇〇	一一、〇〇〇

●三重縣告示第六百四十九號

左記ノ通道路ノ供用ヲ廢止ス

昭和六年七月二十八日

三重縣知事 市 村 慶 三

記

南牟婁郡神志山村大字金山字道ノ上干三百六十四番ノ一

道路敷二畝十五歩ノ内

一、供用廢止地積 貳畝五歩

●三重縣告示第六百五十號

昭和六年四月九日付五土第八、一一六號ヲ以テ免許シタル南牟婁郡南輪内村大字賀田竹村孫一起業ノ公有水面埋立ノ件ハ公有水面埋立法第三十四條第一項第二號ニ依リ昭和六年六月八日其ノ效力ヲ失シタリ

昭和六年七月二十八日

三重縣知事 市 村 慶 三

●三重縣告示第六百五十一號

矢持村與鹿野保育園設立ノ件認可セリ

昭和六年七月二十八日

三重縣知事 市 村 慶 三

一、目的及事業

家庭ノ生業ヲ助ケムカ爲メ農家ノ幼兒ヲ委託ニヨリ晝間保育ス

二、名 稱

矢持村與鹿野保育園

三、主タル事務所

與鹿野尋常高等小學校内

四、事業施行ノ場所

奥鹿野尋常高等小學校内

五、設立代表者

矢持村奥鹿野教育會長 關田義臣

六、認可年月日

昭和六年七月二十五日

廳中事項

●敍任辭令

昭和六年七月十八日

三重縣殺物検査員 岡

久吉

年手當金八拾四圓給與

願ニ依リ三重縣殺物検査員ヲ免ス

廣 告

●工事入札公告

竣功期限

一、一志郡太郎生村大字下太郎生御杖名

張線猿子橋復舊

八十日間

一、志摩郡長岡村大字畔蛸海岸堤防修築

七十日間

一、同 郡志島村海岸堤防復舊

六十日間

右請負望ノ者ハ當廳土木課又ハ所屬工區事務所ニ就キ
規程設計仕様書圖面並實地熟覽ノ上來ル七月三十一日
午後十時迄ニ當廳ヘ到達スル様入札書ヲ郵送スヘシ翌
八月一日午前十時開札ス

昭和六年七月

三 重 縣

通牒照會

●教第二、六〇一號

昭和六年七月二十八日

學 務 部 長

公立各學校長殿

公立各幼稚園長殿

學校教員學生生徒ニ對スル旅客運賃割引證ニ關スル件

學校教員學生生徒ニ對スル旅客運賃割引證ハ發行者ニ於テ番號、使用者ノ身分、姓名、年齡、發行日ヲ記入
交付スヘキコトト相成居候ニモ不拘之レカ記入方粗漏ニシテ甚シキハ發行年月日及使用者ノ氏名ヲ記入セサ
ルモノヲ發行交付スル向モ有之候趣ヲ以テ之レカ取締方ニ關シ其ノ筋ヨリ通牒有之候條右發行ニ就テハ特ニ
御留意相成度候也

●教第二、五六六號

昭和六年七月二十八日

警察部各課長殿
各警察署長殿
各小學校長殿

警察部
學務部
部長

伊山夏期大學無料聽講ノ件

來ル八月一日ヨリ五日間開催セラレヘキ財團法人伊賀國民教育會主催第十九回伊山夏期大學講演中左記ノ講演ハ特ニ縣下警察官及小學校教職員ニ限リ優待ノ意味ニ於テ無料聽講歡迎ノ旨主催會長ヨリ申越ノ次第有之候條可然御勸奨ノ上事務差支ナキ限リ精々聽講セシメラレ度

記

一、講演會場 阿山郡上野町立尋常高等小學校講堂

一、日時 昭和六年八月一日午前九時ヨリ約四時間

一、演題 警察權ノ限界

一、講師 京都帝國大學法學部教授 渡邊宗太郎氏

右縣下警察官ニ限リ優待(無料)

一、講演會場 同 前

一、日時 昭和六年八月二日午前九時ヨリ約四時間

一、演題 陽明學講話

一、講師 京都帝國大學文學部名譽教授文學博士 高瀬武次郎氏

右縣下小學校教職員ニ限リ優待(無料)

昭和六年七月二十八日印刷發行

三重縣公報(第三種郵便物認可)

三重縣廳

三重縣津市下部田千六百十九番ノ二

印刷所 三重縣印刷所

振替口座番號 名古屋一四五〇六番